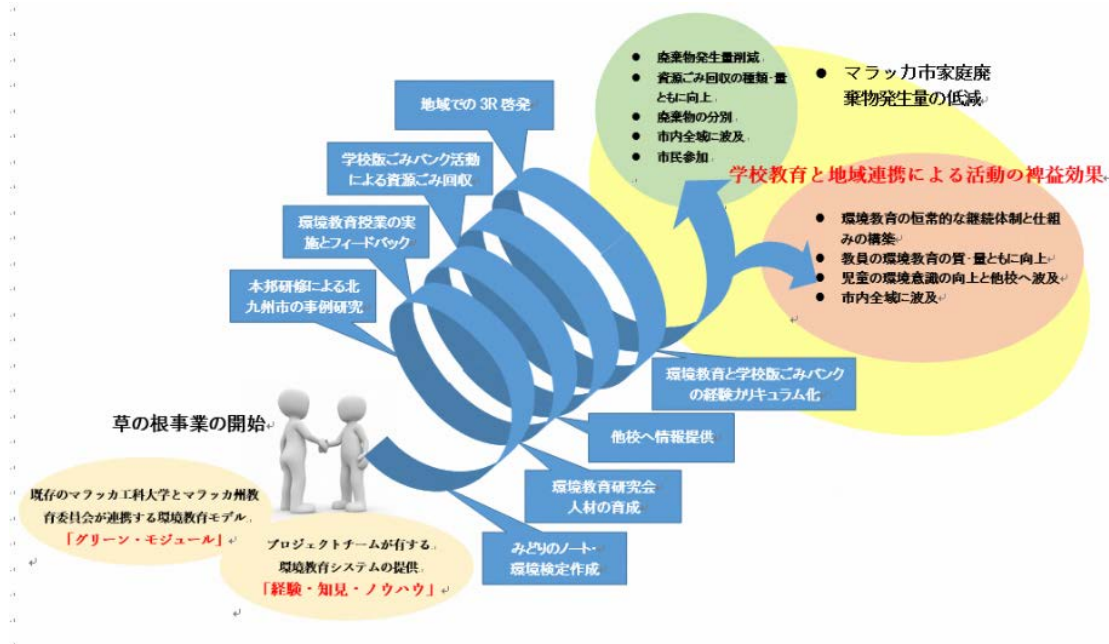


循環型社会形成に向けたマレーシア・マラッカ市の取組みに 北九州の経験・知見を活かします!!

草の根技術協力事業¹「マレーシア国マラッカ市循環型社会形成に向けた市民の3R活動に波及する学校教育モデル構築支援事業」がスタートしました。このプロジェクトは国立大学法人九州工業大学を中心として、北九州の関係機関（北九州市・公益財団法人北九州国際技術協力協会等）と（独）国際協力機構（以下、JICA）が協力して、マラッカ市の循環型社会づくりに向け、北九州の経験・知見を活用し学校での環境教育を通じて学校周辺地域の市民の皆様の3R活動に繋がる学校教育モデルづくりを目指すものです。

マラッカ市はマラッカ海峡に面した港湾都市として発展していますが、発展に伴い市民生活からの廃棄物の大量排出が生じています。マラッカ州政府が策定した「マラッカ・グリーンタウン構想」では廃棄物ゼロの方針（zero-waste policy）を掲げていますが、廃棄物ゼロ実現のためには、市民のリサイクルや分別収集についての取組みを促し、コミュニティ全体でごみ削減を推進することが重要となります。このため、北九州で利用・実施されている「みどりのノート」「環境首都検定」のマラッカ版の作成、これにもとづく現地での取組みを通じて市民の3R活動、また廃棄物の削減を推進します。



¹ 草の根技術協力事業とは、国際協力の意志のある日本のNGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICAが提案団体に業務委託してJICAと団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。

6月13日には、マラッカ市と北九州市をオンラインでつないでのキックオフミーティングが開催され、両国の関係者で本事業の目的・目標の達成に向けた協議が行われました。協議の中では、北九州は環境を守るだけでなく産業の発展も同時に達成してきた経験があること、本事業は環境教育の取り組みですが、将来的な環境保全と産業発展の両立を視野に入れた事業であるとの確認が行われました。



キックオフミーティングの様子

JICAはグローバル・アジェンダ²18として「環境管理 -JICA クリーン・シティ・イニシアティブ (JCCI) -」を掲げており、JCCIのもと、国内外のパートナーと協働して連携強化を図っています。今回のプロジェクトを通じて、国立大学法人九州工業大学を中心とした北九州の関係機関/者とともに、マレーシアにおける「きれいな街」の実現に協力し、持続可能な社会構築を目指します。

【概要】

- 事業名：草の根技術協力事業（草の根協力支援型）「マレーシア国マラッカ市循環型社会形成に向けた市民の3R活動に波及する学校教育モデル構築支援事業」
- 対象地域：マレーシア・マラッカ市
- 実施団体：国立大学法人九州工業大学
- 相手国実施機関：マラッカ工科大学
- 事業期間：2022年5月-2024年11月

■ 問い合わせ先

² JICA グローバル・アジェンダとは、2030年のSDGs達成への貢献や、「人間の安全保障」「質の高い成長」「地球規模課題への取組」といった、日本が開発協力で目指す理念の実現のために、JICAが掲げる20の課題別事業戦略。課題の分析に基づいたグローバルな目標を掲げ、その達成に向けて開発協力事業の成果を上げるべく取り組みます。さらに、途上国はもちろん国内外のさまざまなパートナーとの対話と協働を促進し、開発協力の成果の拡大を目指します。

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
九州センター
2022年6月22日

JICA九州 市民参加協力課 遠藤

[TEL:093-671-8345](tel:093-671-8345)

E-mail: kictp@jica.go.jp